

2013年6月12日

日本電工株式会社

日本電工徳島工場輸入原料の直送化による徳島小松島港利用開始について

日本電工株式会社（社長、石山照明）は徳島工場（阿南市、工場長、田嶋公三）において使用する海上コンテナ輸送による輸入原料の一部を、県外他港経由から、徳島小松島港受け入れに変更することとし、今回その第一船目が入港することとなりました。

この原料は、主力工場である徳島工場の製品である鉄鋼添加用の合金鉄を製造する金属珪素と呼ばれる原料で、主に中国から年間約16千トン輸入しています。従来は大阪港でコンテナを受け入れ、荷卸しをし、いったん大阪の倉庫に保管した後トラックで徳島工場まで運んでいたものです。

近年、小松島港が整備され、中国から韓国・釜山経由航路の利便性も高まったことから、今回、海上コンテナを工場に直送する前提で、物流改善を図ったものです。この物流改善に際しては、徳島県県土整備部運輸総局の支援をいただき、実際の取り扱いは東海運(株)が行います。

厳しい国際競争の中で生き残りをかけている弊社としては、今回の施策により物流を合理化し自らの競争力を強化するとともに、今後も立地する徳島県の港湾を積極的に活用し地域経済の活性化に貢献していきたいと考えています。

【徳島小松島港への直送開始状況】

開始日	2013年6月13日（木）
利用船会社	高麗海運株式会社（船舶：Sunny Palm）
貨物取扱業者	東海運株式会社
助成	徳島小松島港コンテナターミナル利用促進協議会
取扱貨物	金属珪素（※）（6月の取扱量 約 900トン 約 45TEU） （年間の取扱量 約 16,000トン 約 800TEU）
	※ 原子記号 Si、土砂、岩石などの主成分。ケイ石を還元して製造される金属の一種。無害。
輸送経路	新ルート：上海港（中国）～釜山港（韓国）～徳島小松島港～徳島工場 旧ルート：上海港（中国）～大阪港～徳島工場

【参考】徳島小松島港のコンテナ取扱量（実入り）

対象年	輸入	
2011年実績	8,250TEU	金属珪素直送化により、 年間 約 800TEU 増（約 10%増）
2012年実績	8,856TEU	（対 2012年実績）

問い合わせ先 : 日本電工株式会社 業務部 TEL 03-6860-6794

以上